

労働技術とネットで まち・ひと・しごと 地方創生

新宿生活研究所 浦上 登 ☎03-3950-5638

自宅を拠点にネットワーク、フレックスタイム、ワークシェアリングと裁量労働の特徴を生かし「同一労働・同一賃金」の労働技術でITを駆使した「ネット配達」は午前中で自立・午後から自由時間で好きな事ができる両立可能な「自利利他」（下の表）の働き方。グローバル社会でのIT、ロボット、スマートホン、水素自動車、ミドリムシ、ドローン、フィンテック等 業種の違う革命の中で考える力です。

立 場	内 容
1 地域生活者	広報紙の例、配達者は町内の人で草の根配達で漏れなく行き渡りムダが無い、パトロールにもなって、町内会との連携、地図修正などネット時代にコミュニティ活動や多様なサービスが可能で 先ず地元住民の活力に内需主導で地域生活者に持続可能な貢献ができる。
2 企業商店	チラシの例、地元や近隣の町名指定配布には必要印刷枚数が分かりムダが無くなる、マンションだけ、住宅街だけといった 何処をどのように 多様なマーケティング配布が可能。
3 配達者	自宅を拠点に、各種印刷物の配達と出合った人との挨拶だけでセールス、ノルマ、棚卸し等なく高齢者、主婦、軽障害者、誰でもできて「同一労働・同一賃金」制の働き方で仕事は午前中でおしまい、マイペースで時間や体力に応じて生涯現役でやれる、印刷物は前日に指定された中継所へ取りに行く、労賃は1ヵ月後にまとめて支払われる（別紙規定）。
4 家族	自宅で自立の個人事業主で受託業務、同時に 家事 育児 介護など 公的支援など自助・共助・公助の支え合いに「家族の一体感」や絆を深め能率的な労働生産性の向上になる。
5 自治体	広報紙等の配布が折込みから町内で働きたい高齢者に切り替えるだけで同費用で自立支援になる ②新聞の遞減状態に宅配漏れのない様に行き渡り広報の使命を果たせる ③多様なサービスや付加価値で民力の向上に ④非効率な新聞配達（6社）の代行もできる。
6 国家	全国共通の仕組みで増える高齢者資源の生きがい創りは国力になる ムダを省き規制緩和で将来にツケを残さず 民で出来る事は民で 一億総活躍社会に労働集約型の貢献になる。
7 地球	温暖化防止、ローマクラブ（1972）は半世紀前から「成長の限界」で地球の危機を警告し現在の COP21 に繋がっている、ネット配達は「資源加工」から「情報加工」へのソフトサービス業での自然環境保護は未来への責務で企業の社会的責任（CSR）も負っている。
8 事業者	ネット配達は人口の少子 高齢 減少化にソフト社会の中で 今・在る「自然と人間」を生かして独自のモデルを創って拡大 オンリーワンでやりがいのある「自利利他」の働き方。

◆「自利利他」の働き方とは・自分のために働いている事が同時に世の為人の為になっており全部の立場が良く協力される仕組みで 尊徳の「報徳仕法」（江戸末期に600余カ村の自立支援の成功仕法）に学ぶ。新宿区牛込地域で約27,000～48,000戸数（一部千代田区と文京区を含む）47人の主婦による6年10ヵ月に亘る市場化テストで多様なサービスに気づく又早い発展に公的な連携・投資や規制緩和が重要である事を知る。

◆「自利利他」の良い点は、新規創出（文明に貢献）で他になく、マネして儲ければ良いでは秩序を乱す。法治国家の下で企業が市民権を得るには ①新しい事（特許、独自性、似て非、異次元、オンリーワン等で具体化）②持続可能・茲では「作る」から「創る」で無から有を生む無限性、③環境保全・自然との共生（上の表7）④国内共通・小さなモデルで共通のFCで拡大 ⑤資金調達・国は巨額の財政赤字で交付金、補助金、助成金等に頼られない、我が国は大国の条件（7つ）が皆無、資金調達方法として「権利ビジネス」を創出して資産となる権利を買って頂く事で財源とするがソフトビジネス業で新規の融資は難しいが最近クローズアップされている「フィンテック」に大きな期待を持っている。「ネット配達」では過去に「ポスネット」の商号で経験を基に 資料データから持続可能な社会貢献策の創出を目指している。

◆労働技術—ソフト社会では、不可視の可視化、見えないモノの開発が技術開発と呼んでいる、例 IT—情報技術、FT—金融技術、GT—環境技術、WT—労働技術（著者・平21/11/4商標権取得）。（27・12・12）